

# 2007 出雲 神在祭データ

製作：ふるさと山陰 旅のポータルサイト  
http://furusato.sanin.jp

## 1 出雲大社 (出雲市)

大社町の「稲佐の浜」で盛大に神迎祭(旧暦10月10日の夜7時)が行われます。翌日から七日間、会議所である上宮に集まって人生諸般のことについて神議。男女の縁結びもこの時に決まると伝えられています。

### 日程

- 11月19日 (旧暦の10月10日) 神迎祭 (稲佐浜・神楽殿)
  - 11月20日 神在祭 (本殿)・龍蛇神講大祭 (神楽殿)
  - 11月24日 神在祭
  - 11月26日 (旧暦の10月17日) 神在祭・神等去出祭 (からさでさい)
- (※神在祭中、東西の十九社、上宮にても祭典執行)

所在地：島根県出雲市大社町杵築東195  
電話：0853-53-3100

## 2 佐太神社 (出雲市)

出雲の国に八百万の神々がお集まりになる神在祭の中でも最も古いの記録に登場するのがコチラのお祭り。11月20日、本殿付近に注連縄が張り巡らされ、各本殿の前で拝礼を行い、直会殿の秘儀で神々を迎えます。そして11月25日、カンナビ山に続く尾根の途中にある神目山に登り神々を送った後、再び11月30日、25日の神送りと同様な行事を実施。これは帰り残った神を送るための祭礼。出雲大社とは対照的に、神送りは念入りに行われます。

### 日程

- 11月20日～25日 古傳祭 神在祭 (お忌祭)

所在地：島根県松江市鹿島町佐陀宮内73  
電話：0852-82-0668

## 3 万九千神社 (出雲市)

万九千神社はカンナビ山(仏経山)が見渡せる地にある立虫神社の境内神社。社伝によると、全国八百万の神々は出雲大社、佐太神社と巡り、最後に万九千神社に集まって神議し、二十六に直会(なおらい)という別れの宴を開いた後、再会を期してそれぞれの国にお帰りになれるそうです。神在祭は11月17日から26日まで。宮司が社近くの斐伊川の水辺で神迎えの神事を行うことから始まります。

### 日程

- 11月17日 (龍神祭 神迎え)
- 11月26日 (カラサデ)

所在地：島根県簸川郡斐川町併川  
電話：0853-73-9180  
(斐川町文化財・生涯学習室)

## 4 朝山神社 (出雲市)

宇比多伎(ういたき)山の頂上付近にある古社で、「出雲国風土記」「延喜式」にもその名は記載されています。この社は出雲大社の十九社になって20年程前に造営され、旧暦の10月1日神職は氏子総代とともに鳥居下にヒモロギを立てこれに神々を迎え、旧暦の10日神迎え同様に鳥居下にヒモロギが立てられ神送りが行われます。この後神々は出雲大社に向かうと伝承されており、この神社では出雲大社同様様々なこと的神議りが行われている伝えられています。

### 日程

- 11月9日 神在祭 (神迎え)
- 11月19日 神在祭 (神送り)

所在地：島根県出雲市朝山町  
電話：0853-30-6015  
(出雲市文化観光案内)

## 5 日御碕神社 (出雲市)

日沈宮(下の宮)には、天照大神、神の宮(上の宮)には素盞鳴命を祀る神社堂。平入の本殿が唐破風向拝付きの拝殿と続く権現造りとなっていることから国の重要文化財に指定されています。コチラの神在祭は神々が出雲に参集したことを祭神に報告するという形で実施。神在祭の一つ、龍神祭は龍蛇が奉納されたことを祭神に報告する祭で、近年は潮流の影響で龍蛇が上がることはほとんどなくなっているため祭は龍蛇が奉納されたとの仮定のもとで行われます。

### 日程

- 11月19日 神迎祭
- 11月22日 龍神祭
- 11月25日 カラサデ祭り

所在地：島根県出雲市大社町日御碕455  
電話：0853-54-5261

## 6 多賀神社 (松江市)

松江市の中心を流れる大橋側沿い、朝酌地区にある古社。25日佐太神社よりこの社に直会のため神々が参集すると伝承されています。この直会の邪魔をしないよう、境内に人の出入りができないよう参道2ヶ所に注連縄を張り、26日早朝この注連縄を外すことで多賀神社の神在祭は終了。神社での神事は特になく、神々は自然に当社に集まり自然に去っていくと考えられているそうです。神様がこの場所に集まる本来の目的は神社横にある魚見塚古墳。ココで神様たちはエビス様の釣りを見学すると言われています。

### 日程

- 11月25日～26日 神在祭

所在地：島根県松江市朝酌町970  
電話：0852-55-5214  
(松江観光文化振興課)

## 7 神魂神社 (松江市)

日本最古の建築様式である天地根元造の形態を有する大社造りとして、明治33年に特別保護建造物(国宝)に指定。現存する大社造としては最古のもので、これは出雲大社の改築より約400年も古いものだそうです。16世紀初頭までは出雲国造がこの社の神主であり、明治以前までは国造火継ぎ神事や新嘗祭はこの社で実施。まずは境内神社稻荷社に合祀の高天神社で神々を迎え、次の日の早朝ひもろぎでもって本殿内殿に迎えます。

### 日程

- 神在祭

所在地：島根県松江市大庭町377  
電話：0852-21-6379

## 8 売豆紀神社 (松江市)

美人とのほまれが高いオオクニヌシの娘・下照日売命が祭神。この社の神在祭は、12月3日の新嘗祭の前に祝詞を読むことのみが行われています。佐太神社に集まった神様が、直会の一つとしてこの場所に集まるとの話もあり、これは一説によるとこの神社の神在祭が、神魂神社から佐太神社への巡幸のルートに当たっていたのではないかの憶測もなされているそうです。

### 日程

- 12月3日 神在祭

所在地：島根県松江市雑賀町1663  
電話：0852-21-1716

